

●日本の大震災、特に原発事故をどう見るかは、技術文明は、思いもよらない事態が起きる。と、なんともいのつかない。それよりも、政治制度や政治の仕組みが、もつと視機能も果たさず、業界

強靭な制度で安全確保を

統治自爆示す原発事故

政治思想家フランシス・フクヤマ

【共同】冷戦終結を告した論文と著書「歴史の終わり」で世界に衝撃を与えた政治思想家フランシス・フクヤマ氏(59)。その後も知的領域を大胆に横断する著作を次々と発表してきた。「福島原発事故が示したのは技術文明の行き詰まりではない。先進諸国が共通して直面する統治制度の危機だ」とフクヤマ氏は指摘する。新たな科学技術を安全に使えるかどうかは、「制度の力強さ」にかかっていると言う。

民主主義壊す利権集団

重要な問題だという思いを強めている。東京電力と日本政府のお粗末な灾害対策、事故発生後の対応のままである。原子力産業と政府の癒着が、実際に悲惨な結果を招いてしまった。規制当局がなんら監視機能も果たさず、業界はすぐだ。自然現象を制御することはできない。だ

ぎょう しや こう うん どう

セアザの業者が抗議運動

駐車料金の徴収に不満

28日午前0時から決行

聖市民の食卓に影響か?

のマスコミが報道する。
そうなると経営陣も考え

避かれられそうにない。

サンパウロ市食糧配給センター(CEAGESP、以下セアザ)に出入りする業者が、経営幹部が決定したトラック駐車料金の徴収を不服として28日午前0時、セアザのボルトン3(第三出入り口)に入る生産業者のトラックを止めるデモを起こすことが分かった。これにより、業者の8割が利用するボルトン3が面するドトール・ガストン・ヴィジガウ大通り(Avenida Dr. Gastão Viana)に、セアザに入れない業者のトラックが停滞し、交通が止まるだけでなく同日前に品物が並ばないことが予想される。

セアザにまつわる業者

が実施されれば、市民の

食卓に混乱が起きるのは

ではないかと思う」と話

している。

サンパウロ市の台所で

あるセアザ。今回のデモ

が実施されれば、市民の

食卓に混乱が起きるのは

ではないかと思う」と話

している。

サンパウロ市台所で

